

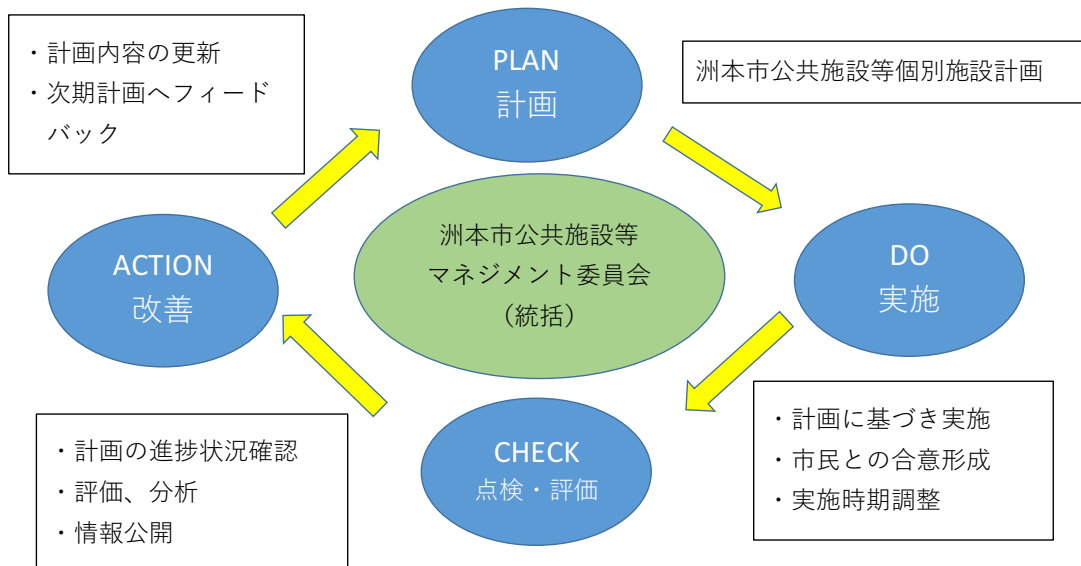
第5章 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

1. フォローアップの方法

本計画を踏まえた一連の取組みを確実に推進するために、PDCA（計画、実施、点検・評価、改善）サイクルにより進捗状況を管理し、計画のフォローアップに継続的に取り組む。

公共施設等の維持管理、改修・更新等を、効率的かつ計画的に実施するための計画となるため、施設の劣化状況、利用状況、財務状況、社会経済情勢等の変化に合わせて、本計画の内容の見直しと充実を適宜図っていくことを基本とする。

【図6】PDCAサイクル



2. 更新・改訂に関する考え方

5年後の令和7年度（2025年度）末を目途に計画内容・進捗状況を確認し、本計画の更新・改訂の有無について検討する。

3. 予算への反映の方法

実施の際には個別の事業費を精査するとともに、有利な財源（補助金、地方債等）を積極的に活用していく。計画に位置付けられた事業は、当該年度の予算の範囲内において確定する。

4. 本計画の実現に向けて

本計画の実現に向けて、今後、市民との合意形成が重要な要素となることから、個別施設の対策内容の実現に当たっては、説明会の開催や関係者との調整・協議の機会を設けるなど、広く市民への情報の提供・共有及び意見の集約・反映等に努めながら、計画の推進を図る。

本計画に示した対策内容を推進する中で、新しいアイデアも取り入れながら、市民の利便性や安全性を考慮しつつ、効率的な施設運営を進めていく。